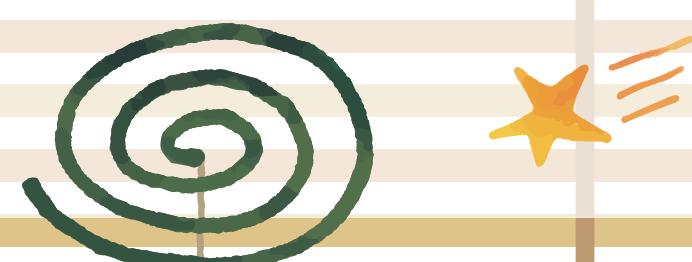


花火玉のできるまで

① 配合

出すべき色になるようさまざまな種類の薬品を調合して、『星』にする火薬を作ります。



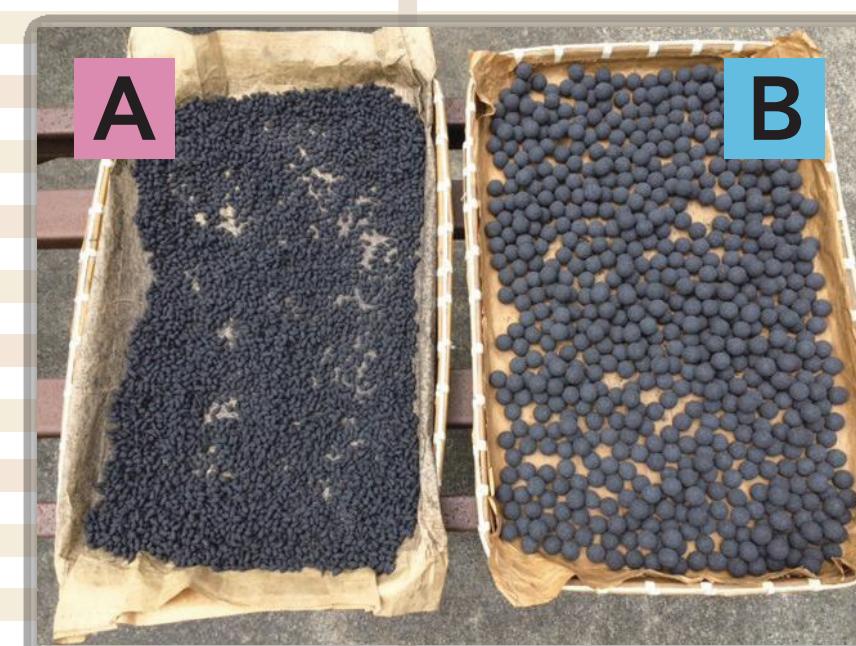
② 成形(星掛け)

星掛け機(回転する機械)を使い、配合した火薬を水分を加えながら少しづつまぶして球形に太らせていきます。

水分を無くすため少し太らせては日光で乾燥させるという作業を何度も繰り返します。



乾燥風景



A 割薬
(花火を割るための火薬)
B 星
(色を出す火薬)

③ 組立(玉込め)

外側の黒い丸が『星』、内側に『割薬』芯入・八重芯・三重芯になるにつれ、中心部の層(割薬&星)が増えていきます。



④ 仕上げ(玉貼り)

上記の半分同士を合体し球形になったものに、クラフト紙を糊付けしていきます。

何層も紙を張ることで強度はもちろん、綺麗に均等に貼ることで割薬の力が均等に作用し、綺麗な球形の花火が開くことになります。



⑤ 完成



花火玉の完成です！